

第92回千葉県メーデー  
(5月1日)  
新型コロナウイルスの影響で、今年は  
10時から11時までオンライン配信にて  
行動を行います。その後、県内のアビ  
ール行動を6ヶ所(千葉駅・柏駅・市  
川駅・船橋駅・松戸駅・五井駅)各駅  
にて行います。

**ちば労連**  
ホームページ <http://chibarouren.org/> メール [chibarouren@axel.ocn.ne.jp](mailto:chibarouren@axel.ocn.ne.jp)

第353号  
2021年  
4月21日

発行  
千葉県労働組合連合会  
〒260-0854 千葉市中央区長洲1-10-8  
自治体福祉センター3F  
電話 043 (223) 5576  
FAX 043 (221) 0138  
発行人 本原康雄 定価20円

第 353 号 URL 版 2021 年 4 月 30 日  
発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター  
電話 043 (225) 5576 FAX 043 (221) 0138  
発行人 本原康雄 定価 20 円

【1面】

# コロナ禍の労働や生活困窮者を救う

## 3・27 いのちとくらしを守る相談会

千葉労連も参加する「いのちとくらしを守る何でも相談会実行委員会ちば」は、3月27日に千葉市内で「いのちとくらしを守る何でも相談会」を開催。通行人にハンドマイクで訴え、ピラを配り、コロナ禍の時代も共に乗り越えよう、と訴えかけました。

### 相談会にあたり様々な団体に協力要請

開催にあたり事前に千葉市や千葉労働局、ハローワーク千葉、ハローワーク千葉南に協力を要請し、当日までのチラシ設置をはじめとした様々な協力をいただきました。

当日は 12 時過ぎに千葉駅東口に各団体から 30 人程が集合。テントを設置し、通行人に相談会の開催をハンドマイクで訴え、案内チラシを配布しました。

各団体の参加者が「コロナ禍で会社の倒産、雇い止め、アルバイトのシフトを減らされ困っているなど、ひとりで悩まず気軽に相談を」などと通行人に呼びかけました。区役所やハローワークに置かれた案内チラシを手にして、市民会館の相談会場に直接来た人もあり、この日の相談は9件でした。



いのちとくらしを守る生活何でも相談会への相談の呼びかけ

### 仕事が見つからない

3月末で雇止めとなると言う50代の契約社員男性は「ハローワークで仕事を探しているが見つからない」「国保料や年金保険料の減免制度は調べたが、他に使える制度がないか知りたい」と話しました。

相談員は次の仕事が見つかるまでの緊急対応策として「緊急小口資金」「総合支援資金」の両貸付制度を説明しました。



親身な相談対応を行う

## 先行きが不安

妻と 2 人暮らしの 70 代男性は、家賃の支払いもあり、夫婦合わせて月 15 万の年金だけではとても暮らせないと 1 年毎の更新の契約社員で警備員として働いてきましたが「雇い止めになりそうで先行きが不安」と話しました。

相談員は、雇い止めが違法となる場合があることを説明。さらに争うのが難しい場合は、各種支援資金の制度や「住居確保給付金」、「生活保護制度」を紹介しました。

## 食材を無料配布

あわせて、香取佐原地区労連の半田久志事務局長と、農民連の協力で米や根菜類の無料配布もおこないました。「米をもらっ

ても、鍋などがなくて調理ができない」と話す 50 代男性が相談会場に訪れました。現在、生活保護を利用しているが、来月から警備会社に就職が決まったと言います。相談員は居住地域の共産党議員に連絡し、その日のうちに鍋とフライパン、インスタント食品などを届けることができました。

## 引続き反貧困運動を

矢澤純事務局長は「1 時から 4 時までの 3 時間であったが、これだけの相談者が来て困窮の実態がリアルにつかめ、相談に対応することが出来てよかった。コロナ禍で生活困窮者はどんどん増え、状況も悪化している。引き続き反貧困の運動を、各団体とともに進めていきたい。次回はレトルト食品など、すぐに食べることでできる食材も用意したい」と話しました。

当日は「千葉テレビ」が取材に入り、取り組みの様子が夕方 6 時のニュースで報道されました。

千葉労連はこうした活動を広く周知させ、生活や労働に困っている人たちの悩みを一人でも多く聞き、解決策を一緒に考えていく取組が求められています。

# 新型コロナのワクチン効果と安全性

## 国は一刻も早い対応を

### 猛威を奮う新型コロナウイルス

新型コロナによる感染が猛威を奮っています。感染力が強い変異種登場（イギリス型、南アフリカ型、ブラジル型等）で感染拡大も強まり、世界で 1 億 3 千万人の感染者、297 万人の死者が出ています。日本でも 51・2 万人の感染者、9469 人超の死者が報告。（2021 年 4 月 14 日現在）国内でもワクチン接種が始まり、世界でワクチン争奪戦が表面化し、国民への接種は予定通り行えるか大変に危惧されています。（2021 年 4 月 6 日現在、接種率 0・8%）

また、多くの人はワクチン接種の副反応を心配しています。この間、先行接種した医療関係者に対する副反応の出現状況は、一般的な局所反応や全身反応の現れ、2 回目の接種後には、さらに強く（特に若い女性に発熱が出現）出ているとの報告もあります。医療従事者における副反応の状況は、発熱についてですが、一回目接種後に 20 代男性 4%・20 代女性 6%、二回目接種後 20 代男性 45%・20 代女性 52%（厚生労働省報告）

日本で製造されるワクチンは過去の副反応禍（副作用による裁判など）による教訓から有効成分の高

度な精製が行われ、不純物を極力除去したワクチンが製造。輸入ワクチンは日本の規格では製造されていない点も心配です。

感染対策にワクチン接種の慎重な接種対応を求めると共に、感染者の特定と隔離を重視する必要があります。変異型が広がる中、早急な対策が求められます。

## 各組織の新型コロナ感染症への取組

各組織の新型コロナへのたたかいと対策の方法をアンケートで 8 組織に確認しました。(千葉土建・自治労連・年金者組合・私教連・船橋労連・松戸労連・千葉地区労・市原労連)

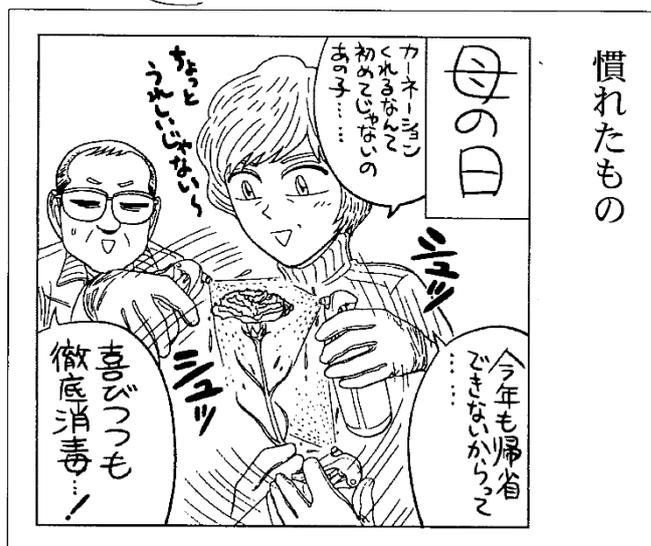
①アルコール消毒の有無(有 8・無 0)②ビニールの空間の仕切り(有 4・無 4)③部屋の喚起(有 8・無 0)④常時マスクの着用は(有 8・無 0)⑤出勤制限や在宅勤務の推奨の実施(有 3・無 5)⑥リモート会議はコロナ前と比べ増えたか(増 7・減 1)という結果でした。

アンケートの③の部屋の喚起ですが、戸が開いている時と閉まっている時があり、関心が低いと感じる時がある。⑤の在宅勤務や出勤制限は、遠方から来ている一部のボランティア半専従の出勤を減らした、との回答が有りました。⑥のリモート会議ですが、席を空けながら開催し、会議の時には検温とマイクの消毒スプレーを実施。会議自体がなくなり、文書通達のみになった組織も有りました。アンケートの結果、人との非接触の中、創意工夫をし、組合と地域活動をすすめていこう、という熱い思いを感じました。



日曜日午前中、TVをつけたらメジャーリーグ野球のライブ試合放送をしていた。パドレ

スのダルビッシュ有とドジャースのカーショウという有名な投手同士の見応えのある投手戦だった▼その 3・4 日前の『クローズアップ現代+』でスポーツデータのオープンシェアとしてダルビッシュ投手が変化球データを公開していると紹介されたが、TV 観戦では、そこまでのデータは必要ないのではと感じた。両投手の素晴らしい変化球と奪三振のシーンは、見る人を惹きつける。TV 放送でも球速だけでなく、様々なデータが提供されるようになってきた▼文化をより豊かにするようなデータの活用を探りたい。



【2面】

# 新入職員に加入呼びかけ

## 組合加入は権利獲得のため

毎年、4月を迎えると新入職員の組合加入のため、各組織は奮闘してします。



君津市職員の新入生組合説明会

コロナウイルスの勢いはとどまることを知らず、昨年よりも状況は厳しいものとなっています。この様な状況の中、新入職員を勧誘するために組合の全勢力を傾け、組合加入を勧めています。以下、各組織の取組です。

#### 自治労連千葉県本部

自治労連の各単組では、新規採用職員を組合に迎え入れようと大奮闘しています。

市町の職員労働組合では、感染防止対策を徹底した上で、リアルな組合説明会を開催。組合の活動等を紹介したフォトムービーの上映や同年代の先輩職員が説明会に参加し「住民のために良い仕事を進めるには、働きやす

い環境が必要。ぜひ組合に加入を」などと訴えました。

また、県職労では、組合紹介リーフや、オリジナルマスクケース、加入申込書を封入し、ダイレクトメールで加入を呼びかけています。

#### 全教千葉

全教千葉では、7単組が独自の企画を立てて、新歓に取り組んでいます。コロナ禍の中で、Zoomを併用して、若い教職員向けの学習会を開催しました。

最近の特徴としては、青年部をはじめとした組合員が自ら講師を務めて実施する企画が増えています。初回の学習会には延べ100名（未組織は3割程度）が参加。多忙を極める4月にしては決して少なくない数です。

この学習会を皮切りに、未加入者とのつながりを作り、拡大につなげていきます。



新入職員に向けた学習会

# 教員未配置問題現状を訴え

## 3・22 県教育委員会に勤務条件の交渉

### 「先生が足りない」未配置問題の現状

3全教千葉は3月22日の勤務条件などに関する交渉終了後、千葉県庁5階記者会見室にて「千葉県内での教職員未配置の現状について訴える記者会見」を行いました。8つの報道関係者に向け、未配置の現状や課題などを訴えました。

### 子どもの学習権侵害

寺田委員長からの趣旨説明では、「未配置問題が子どもたちの学習権の侵害であり、教員の労働条件の悪化をまねく」ことが語られました。中川書記長からは、『産休や病休の代替の先生が来ない』『担任がない』など、異常事態が県内各地で日常化している「この1月には、とうとう教員の未配置が200

件を超えた」などの報告がありました。(3/1 現在 251 件)

## 全教千葉から 6 つの提案

全教千葉として 6 点を訴えました。

- ① 県独自でできる教員配置基準の改善
- ② 正規の休暇等補助教諭の配置
- ③ 働きやすい職場環境の実現と長時間過密労働の解消
- ④ 採用試験の改善、臨時教職員の待遇改善
- ⑤ 定数内講師の正規教員化
- ⑥ 年度初めに前もって配置する産育休代替

当日は、「現場からの発言」を 4 名の方に行っていただき、自治体や学校の状況を訴えました。今後も全教千葉では各教組と協力しながら、未配置問題解消のために広く世論に訴えていきます。

## 現場からの発言

### 【柏市】

柏市内の小学校では、3 月上旬の時点で、来年度の小 3 の 35 人学級を断念。柏市教委の担当課長から「来年度の教員の確保が見通せない」と言われたためです。未配置問題が少人数学級実施の壁です。新規採用者も講師も不足しています。

### 【船橋市】

船橋市は 2016 年から教員未配置問題が深刻化。翌 17 年、市独自の事故対補助教員を雇用。結果、産休代替が見つからず、学級担任が不在の状況が一時的に改善。その後、年々事故対補助教員の数が増え、今年度は 13 人でした。本来は県が率先すべき案件です。

# 労働相談一ヶ月

## ～雇用保険の加入義務と試用期間～

Q 就職のため会社の面接を受けました。3 か月間は試用期間でアルバイト扱いとなります。雇用保険は試用期間が終了後、加入予定といわれました。ハローワークの求人票の内容と面談の話が違います。

A 雇用保険の加入問題とハローワークの求人票と面談の内容が違うという問題は、採用時の疑問として度々相談がある課題です。

最初の雇用保険の問題は、明らかに誤った説明です。雇用保険の加入条件は、「31 日以上の雇用の見込み」と「週 20 時間以上の所定内労働時間」です。条件を満たす労働者を 1 人でも雇用する事業主はハローワークに届けなければなりません。アルバイト・パート、試用期間・見習い期間などの形で雇用契約が結ばれていても、条件を満たす場合は、加入義務があります。

また、労災保険の場合は、働き始めた初日から適用になります。初日に仕事が原因でケガをしてしまうという場合も即日適用になります。しかし、現場の実態は、労働者の力が弱く、おかしいと思っても、質問や誤りを指摘するということが出来ない状態です。

「求人票」と「面談時の条件提示」の乖離という問題も同様の背景があります。しかし、「求人票」はあくまでも「目安」で正式の労働条件提示は、事業主が面談時に口頭や文書で示したものとなっています。差が大きい場合は、ハローワークに情報提供し、改善させます。

コロナ禍で労働条件の悪化が深刻となっています。千葉労連の労働相談は平日の 10 時から 17 時まで受け付けています。働くうえでの疑問は 1 人で抱え込まず、すぐに相談しましょう。【中林】